令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立上向台小学校

●全国学力・学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	<p>< 思考力、判断力、表現力等 > C 読むこと 3三 【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く（記述式問題）</p>	58.3% (都 -12.7)	<p>知識及び技能「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる」問題において東京都及び全国平均を上回った。</p> <p>発表する際などに、話し言葉では、複雑な構文を避けた表現になっているか、聞き手や場面の状況を踏まえた発言になっているかなど意識しながら交流する指導を行ってきた成果が表れている。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等「C読むこと」については、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られた。</p> <p>それぞれの心に残ったところを書くことはできたが、理由を書くことができていない児童などがいたため、「なぜかという」と「～からです」など、思考そのものにかかわる語句を例示していくことが必要である。</p> <p>また、物語の全体像をつかむことはできても、根拠となる叙述を明確にすることが難しい児童もいたため、「～のところから」など、根拠を表す語句を例示するなどの指導をしていく。</p>
	<p>< 思考力、判断力、表現力等 > B 書くこと 2二 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く（記述式問題）</p>	49.5% (都 -6.9)	<p>思考力、判断力、表現力等「A 話すこと・聞くこと」の「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題が東京都及び全国平均を上回っていた。</p> <p>相手や目的を意識しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫する指導を積み重ねてきた成果と言える。</p>	<p>思考力、判断力、表現力等「B 書くこと」については、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。</p> <p>事実は書いているが、考えを書くことにつまずいている児童がいたため、伝えたいことを児童同士で交流しながら、事実を裏付けとすることでどのような考えを伝えたいのかを確認できるよう、児童同士で書いた文章を読み合い、確かめられる場面を設定していく。</p>
	<p>< 知識及び技能 > (1) 3一 【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する（主語・述語）</p>	58.3% (都 -6.9)	<p>思考力、判断力、表現力等「A 話すこと・聞くこと」の「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題が東京都及び全国平均を上回っていた。</p> <p>プレゼンテーションなどで発表する際などに、相手や目的を意識し、どのような資料を用意すればよいことなどを考えたり、聞き手のうなずきや表情などにも注意しながら、聞き手の状況に応じて表現を工夫したりする指導を積み重ねてきた成果と言える。</p>	<p>知識及び技能(1)主語と述語の関係を捉えることに課題が見られた。</p> <p>主語と述語との関係について、低学年から繰り返し指導するとともに、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることを指導していく。</p>
算数	<p>< 知識及び技能 > A 数と計算 4(1) 除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる</p>	66.0% (都 -8.3)	<p>領域A～Dの知識及び技能については、概ね定着していると考えられる。また、記述式問題では、グラフや場面から状況を正確に読み取ったり、データを比較したりしたことを、式や言葉で説明することができていた。</p> <p>特に、A 数と計算「問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる」問題、B 図形「直方体の見取り図について理解し、かくことができるかどうかをみる」問題、D データの活用「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題が東京都及び全国平均を上回った。</p>	<p>「A 数と計算」4(1)では、小数点の位置を正確に捉えることに課題が見られた。</p> <p>「わり算の性質を使うと、小数のわり算を整数のわり算に直して考えることができること」、「わる数が1より大きいときは、商はわられる数より小さくなること」、「わる数が1より小さいときは、商はわられる数より大きくなること」などを指導していく。</p>
	<p>< 思考力、判断力、表現力等 > A 数と計算 2(1) 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる（記述式問題）</p>	57.3% (都 -4.0)	<p>今後も、日常生活の問題を解決するために、必要な数値を用いて処理したり、その結果を式に表したりすることができるようにしていく。</p>	<p>「A 数と計算」2(1)では、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫できるようにすることに課題が見られた。</p> <p>日常の具体的な場面に対応させて、計算を工夫したり、計算の結果を見積もったりすることができるように指導していく。</p>